

新潟県社保協ニュース

2021年2月12日 新潟県社会保障推進協議会 TEL 025-225-0322

介護施設従事者のワクチン接種の 順位を上げるよう県に要請

2月12日（金）に新潟民医連と共同で県への要請行動を行いました。

12月25日に「第43回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会」が開催され、新型コロナウイルスワクチンの接種体制の基本設計が示されました。これによると、高齢者施設等の従事者のワクチンの接種順位は、①医療従事者等、②高齢者、③基礎疾患を有する者に続き4番目に位置付けられています。また、居宅系（訪問介護やデイケア）の従事者はこの順位の中に位置付けられていません。緊急事態発出対象の都府県では、介護施設でも多くのクラスターが発生していることから、コロナ感染症を防ぎ、安心・安全の介護サービスを提供していくためには、入所・通所に関わらず介護従事者の接種順位は高齢者と同等に位置付けて対応することが重要です。

入居系の施設の従事者は利用者と同時に接種が可能との国からの通達が出ましたが、通所系では改善がみられていないため、国に対して改善を強く求めるとともに、県としても独自の対応をするよう県へ要請しました。参加したゆうえい会の高橋さんからは「ゆうえい会では訪問看護 ST と介護事業が一緒の施設内にある。一方は医療者と同じ扱い、しかし一方は一般人と同じ扱いになる。これでは現場が混乱する」との訴えは、県の担当者にも強く響いたようで、ワクチン接種の権限は国にあるため、県としての独自の対応はできないが、県としても重要なことだと考えているので、皆さんの要望は必ず国にぶつけていきたいとの回答がありました。

PCR 検査については現在、25 都府県で独自の取り組みが進んでいますが、新潟県にはないため前回要請から引き続き、「県内全ての介護、福祉事業所で、検査を希望する施設の職員を対象とした、無料の PCR 検査の実施を」と要請しました。県は「現在の段階ではまだ後追いできる範囲にあるが、そういった段階ではなくなって際には、検討していくことになる。現在は速やかに検査が実施できるよう、診療検査医療機関等、体制の構築を図っている」との回答でした。

なお、要請にあたり、県内 1,400 の介護事業所に団体署名をお願いし、本日現在で（署名郵送から 1 週間で）、138 件の署名が届けられており、介護従事者の切実な思いを届けることができた要請行動となりました。なお、マスコミ 4 社が取材に、関心の高さを感じました。



交渉団：遠藤建議
小網民医連事務局長
ゆうえい会高橋理事
社保協新倉

取材を受ける小網氏